

先輩！
お疲れ様です！
先輩が整備
してくれる武器
ホント最高です！
おかげで今日も
楽勝でしたよ～

ツバキ！
今日も任務
お疲れ様！

彼女は
謎の怪獣たちの
侵攻から
都市を守る
エースメカ
パイロット

僕にとっても
都市にとっても
彼女は頼れる
英雄であり
守護者だ





くっ…！本部!!
頼むっ 応答せよ!
くそっ…!!
通信が…！



本部!
応答せよ!!
奴らの罠に
はまった!
繰り返す!
罠に——!!



その卓越した力
これからは
我と帝国のために
振るってもらおうぞ



我が帝国の
計画を悉く
邪魔して
くれたが
それも
ここまでだ



チッ…!!
貴様が
怪獣侵攻の
黒幕か!!
くそっ…放せ!
放しやがれ!!

貴様!
一体何を
企んでいる!

強靱な精神を
持つ彼女で
あったが

長きにわたる
絶え間ない
洗脳と改造は
遂に彼女の
肉体も精神も
完全に屈服させた...

帝国はツバキを
自分たちに
忠誠を誓う
絶対服従の
兵士へと
改造するために
強制的な
洗脳プログラムを
数ヶ月間 施した





フフ...
随分手間は
かけさせられたが
貴様もこれで
お終いだ...

あ...♡
あっ...♡





...この方の
命令に従って
いるだけで
味わったことない
ほどの快感が...♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

おかしい...
なんで...

コイツ...
いや...♡

んんん♡
んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

んんん♡
んんん♡

頭の中で
心地よく
響く...♡

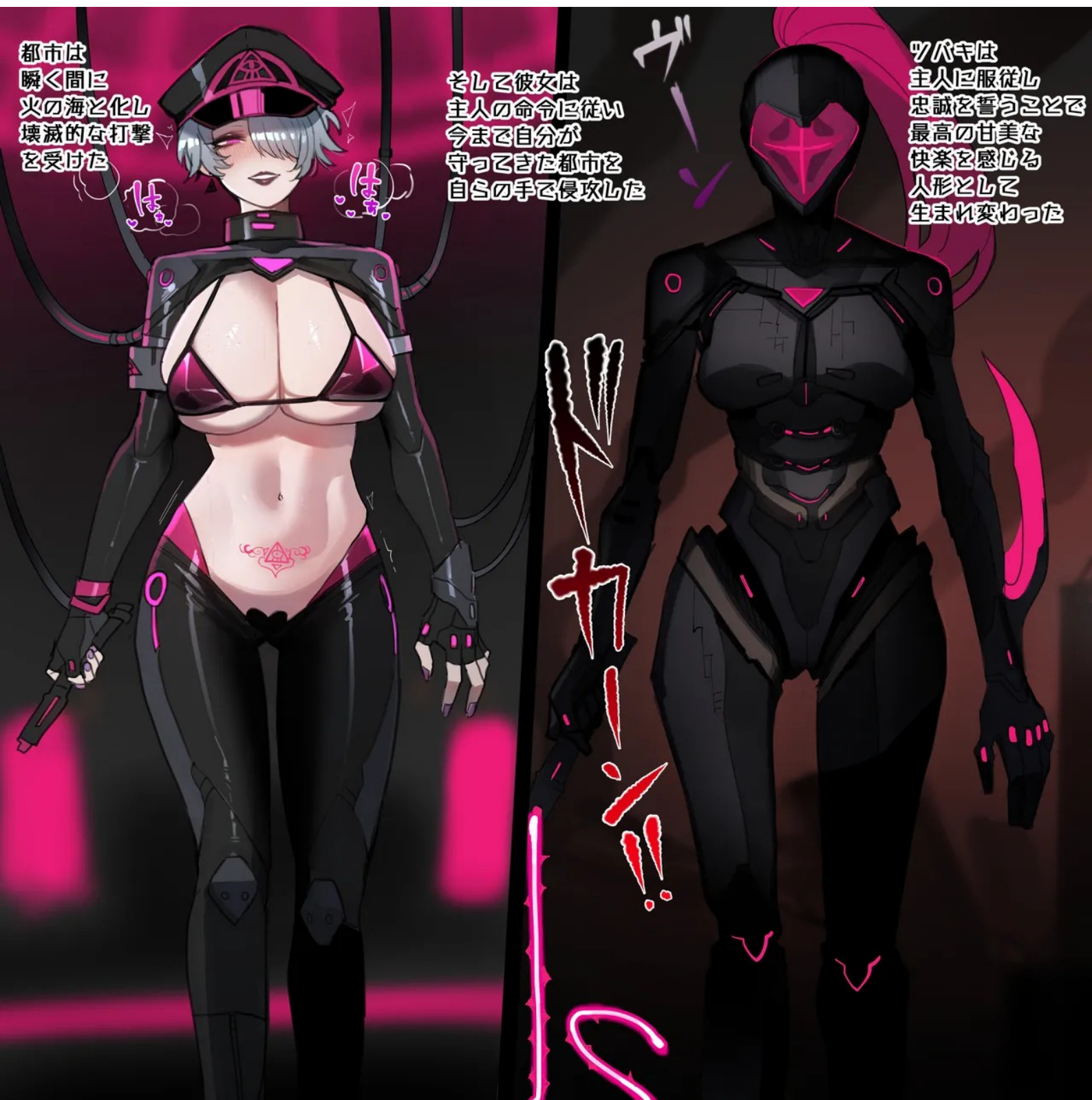
...コレのためなら
私の命さえ...♡

きん♡
きん♡

都市は
瞬く間に
火の海と化し
壊滅的な打撃
を受けた

そして彼女は
主人の命令に従い
今まで自分が
守ってきた都市を
自らの手で侵攻した

ツバキは
主人に服従し
忠誠を誓うことで
最高の甘美な
快楽を感じる
人形として
生まれ変わった



メスたちは
すでに施設への
輸送を済ませ
私と同様の
基礎教育を
施しております

陛下♡
帝国侵略部隊
隊長ツバキ
任務を完遂し
帰還しました♡

残りのオスたちは
陛下のご命令通り
奴隷として
教育する予定です♡

以前同じ部隊に
所属していた
オス 10匹
メス 20匹の
合計 30匹を
捕虜として
連行しました♡

素晴らしい仕事だ
ツバキ♡
褒美を与えよう…

あっ…♡
そんな…♡
光栄です♡





...うっ...
ぐっ...

んう...♡
好き...♡
もっと...
もっと強く
抱きしめて
ください...♡

ツバキ...

どうか陛下の
お好きなよう...
弄りたいままに
ご命令を...♡

はい...♡
陛下にお楽しみ
頂けると思い
生かしたまま
捕らえてきた
玩具です♡

コイツは...
お前と縁がある
とか言っていた
敵部隊の男か...

グイッ



そこには
僕の知る
かつての優しく
思いやりのある
英雄ツバキの姿は
どこにもなかった...

あ〜あ♡
情けないですね
先輩♡
こんな風に
踏まれただけで
射精するごと
だったなんて...♡

こんなのと一緒に
戦ってたと思うと
恥ずかしすぎて
死にたい...♡

さっさと帝国に
降っていれば
幸せになれていた
でしょうに...♡

くそっ...!!
ツバキ...!!
どうして...!!

ひゅるるる〜♡



んっ
好き
陛下...
♡♡♡

んっ
好き
陛下...
♡♡♡

彼女はすぐに
僕のことなど
気にも留めなくなり
皇帝とのセックスに
溺れていった...

ズッ
ズッ
♡♡♡

んっ
んっ
♡♡♡

彼女の言う通り
僕は底辺に
堕ちたゴミらしく
破裂しそうなほど
勃起したまま
冷たい床に
押しつけられ
ビクビクと
震えていた...

背中にのしかかる
重みの向こうから
彼女の甘い喘ぎ声が
聞こえてくる...

んっ
んっ
♡♡♡

んっ
んっ
♡♡♡

これからは
負け犬のオスが
虫のような命を
少しでも
生きながらえ
られるよう...♡

...これは
陛下から
直々に
下された
ご命令です

運が
いいですね
先輩♡

先輩は...
いや...
お前はもう
永遠に私の玩具...
そして帝国の
「奴隷」です♡

陛下が
とても楽しんで
くださったおかげで
命をつなぐことが
できたんですよ...♡

忠誠を尽くして
陛下と私を
存分に楽しませて
くださいね♡



あはは♡
メスみたいな
声で喘いで...
情けない♡

ほらもっと
惨めな敗北汁
ぐちゃぐちゃに
まき散らさない♡

そう いい子ね♡
頭空っぽの忠実な
奴隷になって
気持ちよく
なりましょ?♡

あああっ!!♡

やめてえ♡
ツバキい!!♡



今この時も
数多の捕虜が
彼女の手によって
帝国の
忠実なる奴隷へと
調教されている...

「帝国の征服女王」
と恐れられ
その悪名を
轟かせ始めた...

そして
彼女は
世界中から

彼女を先頭にした
帝国軍の征服は
もはや誰にも
止められなかった...

…好きだろ？
私の胸を
見ながらの
オナホコキ…♡

あ… ありがとう
ございます…♡

2ヶ月ぶりの
待望のご褒美だ
あっさり射精して
しまわないよう
もう少し
耐えてみる♡

ほら♡
ほら♡

整備奴隷5番…
今回貴様が設計した武器は
素晴らしい出来だった♡

おかげで今日も
抵抗国家の一つを
完膚なきまでに
叩き潰せた♡

…では
よく働いた奴隷には
ご褒美をやらないとな…♡

